

カンゾウ末の分析 —日本薬局方—

Analysis of Powdered Glycyrrhiza

生薬であるカンゾウ末の有効成分のグリチルリチン酸は抗炎症作用、抗アレルギー作用が認められ、また食品添加物の甘味料として使用されています。日本薬局方で収載の甘草中グリチルリチン酸の定量法である液体クロマトグラフ法ではグリチルリチン酸、パラオキシ安息香酸プロピルの順に溶出し、2 つが完全に分離する ODS カラムの使用が指定されています。

ここでは第十三改正日本薬局方に準拠した方法で抽出～分析を行いました。

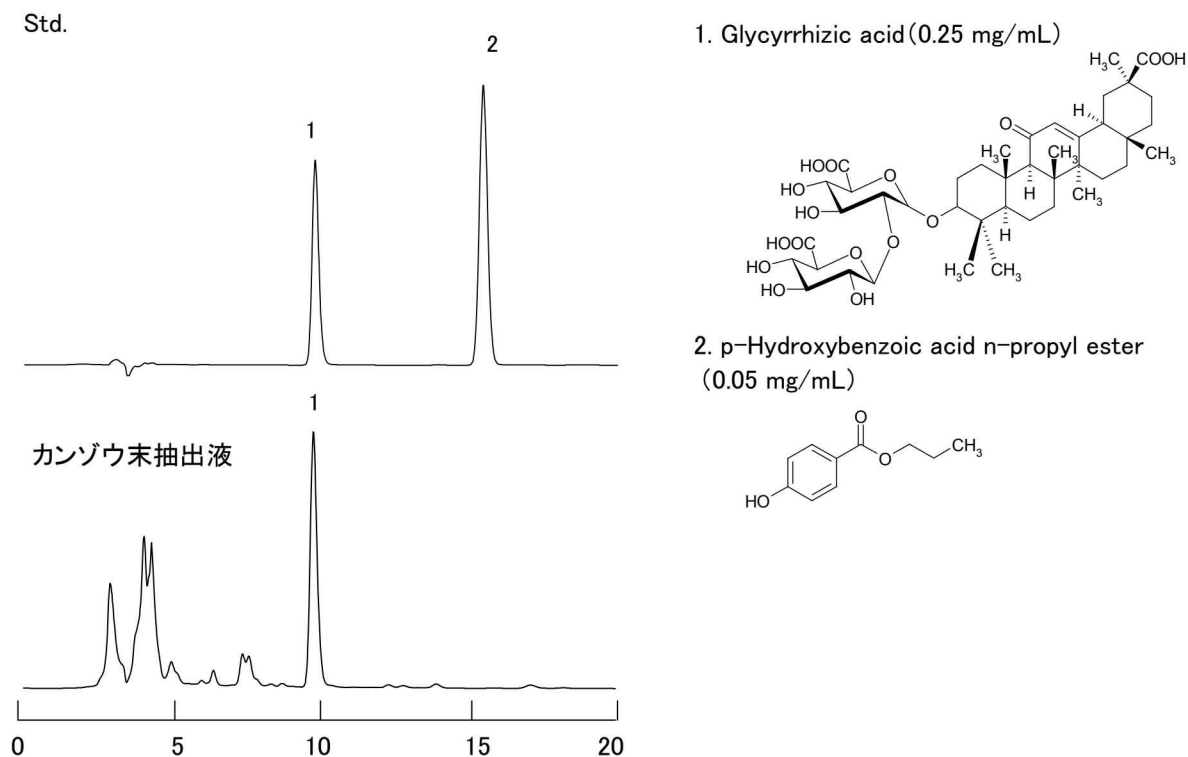


Fig. Chromatogram of Glycyrrhizic acid.

【Analytical conditions】

Column: **L-column ODS**(C18, 5 μ m, 12 nm) 4.6 mm I.D. $\times$ 150 mm L.
Mobile phase: CH₃CN/CH₃COOH(1 $\rightarrow$ 15) (60/40)

Flow rate: 0.5 mL/min
Temperature: 20°C
Detection: UV 254 nm
Injection volume: 10 μ L
System: -